

西南地域まちづくりビジョン（概要版）

西南地域の概況

- ◇多くの市営住宅が立ち並んだ地域であり、未利用地も多く残されているため、その利活用によって街の様相が変化する可能性がある。
- ◇本市の未利用地を活用してイベント得区事業（芦原橋アップマーケット）を実施し、エリアのブランディングに繋げている。
- ◇戸建て住宅やマンション建設が進んでいる。また、交通の便が良いため外国人住民の転入が多くみられる。
- ◇児童・生徒の増加傾向が続いている中で、市営住宅居住者の高齢化が進行している。

まちの魅力と課題

- 街区の整理が進んでおり、交通の便にも恵まれているため、住宅地としてのポテンシャルが高い。
- 住宅の建設が進むが、その一方で賑わい・商業機能が不足している。
- 住民の高齢化と新住民割合の増加によるコミュニティ・ネットワークの希薄化と地域活動の担い手が不足している。

めざすまちの姿

- 子育て層が住みたい、住み継ぎたくなるまち（※）
- チャレンジを受け入れる多文化共生・交流のまち

（※）地域コミュニティにかかわり続けながら、その地域や近隣に住み続けたいまち。

取り組みについて（民間活力を中心に）

- 多様なニーズに対応できる住居と良好な住環境の提供推進
- より良い教育環境づくり
- 賑わい・交流・学びなどの機能の誘致 等

西南地域の機能別ゾーニング

- ① 駅周辺に「賑わい・交流・学びの拠点づくり」エリア【もと市民交流センター用地・イベント得区B用地・今宮用地】
- ② 地域活性化のために大規模未利用地を活用するエリア【旧イベント得区A用地・もと浪速青少年会館用地】
- ③ 公園を核とした交流を生み出すゾーン【エリア内にある都市公園】

西南地域の機能別ゾーニング

